



住み続けたいまちへ

少子高齢化が進むにつれ、わたしたちが暮らすまちでも空き店舗や空き家が目につくようになりました。単身世帯も増え続け、人と人のつながりも希薄になっています。こうした流れのなか、まちを活性化させて、誰もが住みやすいと感じるまちにするには、どうすればよいのでしょうか？ 少し立ち止まって、考えてみませんか。



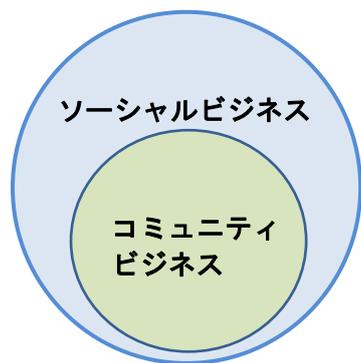
展示期間：2017年7月1日～2017年8月24日
中野区立野方図書館 東京都中野区野方3-19-5
TEL：03-3389-0214 FAX：03-3389-0238

日本は今、少子高齢化という大きな課題と向き合っています。現在、日本の総人口は1億2800万人ですが、このままの状態が進むと、50年後には8700万人になるという推計もあります。また、一人暮らしの高齢者は現在500万人を超え、全世帯の約1割を占めています。二世帯は約500万世帯で、将来的にはますます単身世帯が増える見込みです。こうした動きに伴い、まちでは空き家や空き店舗も目立つようになり、地域のコミュニティも減って、住民の孤立化など様々な問題が顕在化してきました。

社会問題解決の新たな担い手

高齢者福祉や介護、児童保育、防犯・防災、教育、雇用などの社会的問題は、これまでは主に行政、あるいはボランティアが担ってきました。しかし、近年、その解決をビジネスと結び付ける動きが活発化してきました。最近よく耳にするようになった「ソーシャルビジネス」や「コミュニティビジネス」などに代表される仕組みづくりです。経済が縮小される今、社会的問題解決の新たな担い手として注目を集めています。

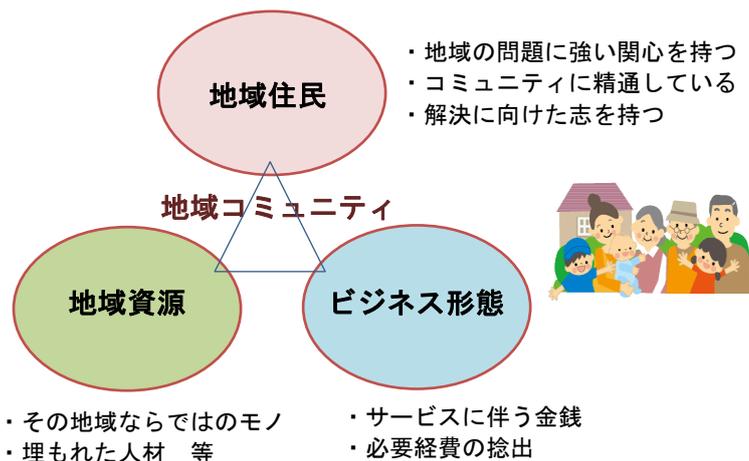
● ソーシャルビジネスとコミュニティビジネス



阪神・淡路大震災（1995年）を経て、1998年12月に成立した「特定非営利活動促進法（NPO法）」は、無償のボランティアによるサービス提供だけでなく、市民事業としての有償サービスを含む事業作りを応援するものでした。ソーシャルビジネスは、NPOから発展し、社会的問題を解決する企業や起業家という、欧米から導入された考え方の系譜の延長線上にあります。2008年4月に経済産業省が「ソーシャルビジネス研究会」を設立し、報告書を紹介。これがきっかけとなって、日本でも急速に広まってきました。

ソーシャルビジネスが環境問題や経済格差など比較的広い範囲を対象としているのに対し、コミュニティビジネスは狭い範囲の地域を対象としています。まちの高齢者介護や子育て支援、地域の商業の活性化など地域レベルの活動が主体となり、その分、地域社会への影響も大きいといえます。どちらも営利を目的とはしていませんが、システムを継続させるために必要な経済活動を導入して持続可能となっています。

コミュニティビジネスの構成要件



コミュニティビジネスにおいて活動の中心となるのは、地域住民です。地域にはそれぞれの歴史があり、抱える問題も異なるため、住民自らの問題意識が大変重要となってきます。地域資源はその活動力となります。埋もれた人材やモノを発掘し、ビジネスを介してフルに活用することが、持続可能なまちづくりへの鍵となります。

また、地域の中に新たな経済環境が生まれるということは、雇用や商品・サービスの提供も地域の中で行われることを意味します。高齢者やハンディキャップを持った人たちも協同作業を通して地域内での交流が盛んになる可能性を秘めています。

コミュニティビジネスの実践例のひとつとして、藤沢市のNPO（ぐるーぷ藤）の活動をご紹介します。

活動を開始したのは1992年。当時の藤沢市は人口35万人のうち65歳以上が3万人を超え、一人暮らしの高齢者は約2千人。しかも増加傾向にありました。こうしたなか、市民自らが出資し・運営する「たすけあい」の仕組みを立ち上げ、1999年に法人格を取得。訪問や通所の介護事業のほか、家事介護やボランティア活動の本来事業も行っています。2003年にはデイサービスの利用者が所有していた空き家を借り受けてデイハウスの施設をオープン。その後も地域のニーズを細かく汲み取り、福祉マンションを建設するなどの様々な取り組みを通して、住民が支えあって暮らす住まいづくりを実現しています。

地域コミュニティの再生へ

まちおこしというと、何か大きなイベントを仕掛けたり、集客施設を作ったりといったイメージがあります。人を集めれば、まちは一時賑わうかもしれません。しかし、人と人のつながりを有機的に作り出すには、もっと地域の住民を巻き込み、住民自らが考えて動く必要があるでしょう。

●コミュニティビジネスを生み、育てていくための基本的考え方

- ① 職住近隣の働き方や暮らし方を考える
- ② 地域の困った問題の支援や必要なサービスを意識して作る
- ③ 全体の流れを把握したうえでビジネスの視点を取り入れる
- ④ 地域の遊休資源を活用する
- ⑤ 地域雇用を積極的に生み出していく
- ⑥ 地域のなかに新しい関係を作っていく



自分が困っていることは他人も困っているし自治体も困っていると考えてみましょう。漠然とした問題を洗い出し、仲間を集め、まちに眠る資源（例えば空き店舗等）や人材に光を当て、自治体等とも協力できないかを検討してみましょう。

●地方自治体とコミュニティカフェ

コミュニティビジネスが注目される背景として、問題解決型のボランティア活動が衰退傾向にあることが挙げられます。その一方で増えているのが、コミュニティに「趣味」を取り入れた「テーマ型コミュニティ」といわれるもの。近年全国に広がっている「コミュニティカフェ」はその代表でしょう。楽しいことをベースに幅広い年齢層の人が自由に集える地域の『居場所』や『サロン』を総称したもので、やはり住民自らが運営しています。

また、自治体や高齢化が懸念される地域の町会も、その働きが見直されています。住民の要望は実に多様なため、町会による親睦行事や公益的活動が、地域の問題解決の糸口ともなるでしょう。

～中野区の取り組み～

中野区でも、生き生きとしたまちづくりのために、さまざまな取り組みを行っています。

★ 創業者、経営者、勤労者向けのセミナー、創業・経営相談などは・・・

中野区産業振興センター(旧 勤労福祉会館)では中小企業の事業活性化、創業および新たな産業の創出促進等、区内産業の振興を目的とした講座を年間通して毎月開催しています。

今後の講座は・・・

〇7月15日 「思いを形にしてビジネスアイデアを生み出す」

〇7月29日 競合激しい競争の中で起業を成功させるための重要ポイント！ 「強靱ビジネスコンセプト作成講座」

他にも多数の講座が控えています。詳しくはHPをご覧ください。

<http://nakano-sangyoushinkou.jp/>

★ 中野区全域での見守りや支えあいなどに参加するには

中野区内には現在約110の町会・自治会があります。回覧板や掲示板、親睦行事、防災や防犯を通じて、行政とも協力しながら、公益的な活動を続けています。

詳しくは中野区町会連合会HPをご覧ください。<http://nakano-chokai.jp/>

★ 趣味や生きがいを通して新しい居場所を作るには

中野区社会福祉協議会(中野社協)が支援し、区民が自ら立ち上げる「まちなかサロン」は、現在37カ所(2017年6月現在)あります。中野社協では、サロン開設までの相談や運営のアドバイス、PR活動、サロンのオーナー・スタッフ同士の交流の機会を作るなど様々な面をサポートしています

詳しいお問い合わせは、中野ボランティアセンター／電話 03-5380-0254 まで
まちなかサロンに関する情報は下記HPをご覧ください。

<http://nakanoshakyo.com/service/salon/>

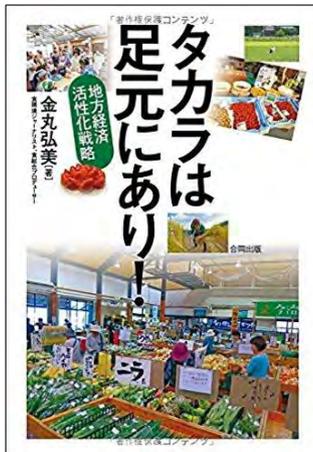




まちづくり おすすめ本



・地域に根付く文化や人々こそが資源！



『タカラは足元にあります！』

金丸 弘美／著 合同出版 2016年 (601.1カ)

全国 1000 カ所以上の現場を渡り歩き、地域に根付く食文化を再発見したスペシャリストが、地方経済の活性化について提言。地域を豊かにする取り組みにおいて、何が成功し、何が成功していないのか？ その答えはとてもシンプルだと著者は言います。本書では主に食や観光をテーマに、地域の活性化に成功した事例を数多く紹介しています。



・社会問題解決のための仕組み作りとは！？



『社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門』

駒崎 弘樹／著 PHP 研究所 2016年 (335.8コ)

病児保育を行うNPO法人「フローレンス」を2004年に立ち上げ、ニューズウィーク「世界を変える社会起業家 100人」にも選ばれた著者が10年以上にわたる挫折と奮闘の軌跡を具体的に明かします。行政とうまく付き合う方法や資金の調達方法など実践的なノウハウが満載。NPO やソーシャルビジネスなどを通して、社会を変えたいと願う人にお薦めの一冊です。



・学びの場を通して「誇りをもてる」まちへ



『地域の力を引き出す学びの方程式』

山下 洋輔／著 水曜社 2013年 (379.0ヤ)

千葉県柏市を中心に活動する「柏まちなかカレッジ」。地域で暮らす人々の能力を引き出し、才能のある人や素敵な空間にスポットライトを当てて、新しいコミュニティの場を作ろうとしています。その試みの数々は、「誇りをもてるまちをつくりたい」「自慢できるまちにしたい」と願う人々や市民活動グループ、NPO、広く行政に関わる人たちにも、大きな示唆を与えてくれることでしょう。





展示図書リスト



書名	著者名	出版社名/発行年	請求記号
地域の活性化			
地域おこし協力隊	椎川 忍 他/編著	学芸出版社/2015	318.6 チ
「地方創生」でまちは活性化する	小林 勇治 他/編著	同友館/2015	318.6 チ
地域活性化ビジネス	岡田 豊/編著	東洋経済新報社/2013	601.1 オ
タカラは足元にあり!	金丸 弘美/著	合同出版/2016	601.1 カ
地域ブランド・マネジメント	電通 abic project/編	有斐閣/2009	601.1 チ
地域活性化マーケティング	宮副 謙司/著	同友館/2014	601.1 ミ
まちを変える			
社会を変えるリーダーになる	田中 尚輝/著	明石書店/2014	309 タ
住んでみたい街づくりの賢人たち	小久保 晴行/著	イースト・プレス/2009	318.2 コ
市民参加のまちづくり【グローバル編】	伊佐 淳 他/編著	創成社/2013	318.6 シ
地域分権時代の町内会・自治会	中田 実/著	自治体研究社/2017	318.8 ナ
地域の力を引き出す学びの方程式	山下 洋輔/著	水曜社/2013	379.0 ヤ
タウンマネージャー	石原 武政/編著	学芸出版社/2013	601.1 イ
地域商店街活性化マニュアル	土肥 健夫/著	同友館/2010	673.7 ド
ビジネスと社会問題			
山崎亮とゆくコミュニティデザインの現場	渡辺 直子/著	織研新聞社/2013	318.8 ワ
小さな起業で楽しく生きる	ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン/著	ほんの木/2014	335.6 チ
社会を変えたい人のための ソーシャルビジネス入門	駒崎 弘樹/著	PHP 研究所/2016	335.8 コ
コミュニティ・ビジネスのすべて	コミュニティ・ビジネス・ネットワーク/編	ぎょうせい/2009	335.8 コ
市民のためのコミュニティ・ビジネス入門	徳田 賢二 他/編	専修大学出版局/2011	335.8 シ
ソーシャル・ビジネス・ケース	谷本 寛治/編著	中央経済社/2015	335.8 タ
がんばる地域のコミュニティ・ビジネス	細内 信孝/編著	学陽書房/2008	335.8 ホ

まちの活性化について調べるには

野方図書館、および他の中野区立図書館に所蔵のある資料をもとに基本的な調べ方をご紹介します。



1. キーワードを集める

※様々なキーワードを使うことで、資料を効率的に検索できます。

コミュニティビジネス ソーシャルビジネス ワーカーズ・コレクティブ 町会・自治体
新しい公共 地域活性化 地方創生 コミュニティカフェ 社会的包摂 地域開発 地域活動
地縁 地域福祉 少子高齢化 ボランティア まちおこし ものづくり など

2. 基本的な用語を調べる

※まちの活性化に関する用語の意味を把握しましょう。

資料情報	請求記号	所蔵館
現代用語の基礎知識 2016 自由国民社 2016年	031 ゲ 16	野方

3. 図書を探す

※テーマの棚に行って探します。

分類	分野	分類	分野	分類	分野
318	地方自治	361.7	地域社会	369	社会福祉
379	社会教育	335.8	公益事業	601	地域開発

※コミュニティや住民に関する統計や政策などの情報も調べてみましょう。

資料情報	請求記号	所蔵館
2016 中野区区民意識・実態調査報告書 中野区政策室企画分野政策情報担当／発行	G39A16	野方
平成28年度(2016年度) 健康福祉に関する意識調査 報告書 中野区健康福祉部福祉推進分野保険福祉企画担当／編	H12A16	野方
高齢社会白書 平成28年度版 内閣府／編集	369.2 コ 16	野方

※中野区立図書館利用者用検索機「OPAC (オーパック)」で。

資料のタイトルや著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。
中野区立図書館のHPからも検索できます。

<http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

※国立国会図書館の蔵書目録「国立国会図書館サーチ」で。

国内で刊行され、国会図書館で所蔵された図書・雑誌、その他が検索できます。

<http://iss.ndl.go.jp/>

※東京都立図書館の「蔵書検索」ほかで。

東京都立図書館所蔵の資料のほか、都立公立図書館の蔵書や専門図書館の検索もできます。

<http://www.library.metro.tokyo.jp/>



4. 新聞・雑誌で調べる

野方図書館では〔朝日、読売、毎日、東京、日経、産経、スポーツニッポン、ジャパントイムズ〕計8紙の原紙を3か月間保存。それ以前に関しては朝日新聞のみ過去20年間の縮刷版を所蔵。雑誌コーナーにある雑誌は、週刊誌は過去3ヶ月間、隔週刊誌は過去6か月間、月刊誌は過去1年間、隔月刊誌は過去2年間保存しています。

なお、中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末から、以下のデータベースサイトをご利用いただけます。

データベース	収録期間と主な内容
官報情報検索サービス	1947年5月3日から当日までの官報記事の検索
日経テレコン21	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の記事
聞蔵Ⅱビジュアル	1879年から1999年までの朝日新聞紙面イメージ 1985年から当日の新聞までの記事 ほか
MAGAZINE PLUS	一般雑誌・専門雑誌の雑誌記事検索や論文情報など
WHO PLUS	歴史上の人物から現代の人物まで約32万人のプロフィール
D1-Law.com	判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など

5. インターネットを利用する

『共助社会づくりの推進について～新たな「つながり」の構築を目指して』（PDF）（内閣府）

https://www.npo-homepage.go.jp/uploads/report33_8_houkoku_all.pdf

NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター

<https://cb-s.net/about/>

広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会

<http://k-cb.net/>

関東経済産業局（経済産業省）

<http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/community/>

ソーシャルビジネス／コミュニティビジネスの振興（経済産業省）

http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/sbcb/index.html

公益法人と特定非営利活動法人（NPO法人）（内閣府）

http://www.cao.go.jp/others/koeki_npo/index.html



6. 関連の政府機関・自治体

内閣府 <http://www.cao.go.jp/>

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1 TEL：03-5253-2111（代表）

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL：03-5253-1111（代表）

経済産業省 <http://www.meti.go.jp/>

〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL：03-3501-1511（代表）

東京都福祉保健局 <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/>

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 TEL：03-5320-4032（代表）

中野区（暮らしのガイド） <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/index.html>

〒164-8501 東京都中野区中野 4-8-1 TEL：03-3389-1111（代表）

～夏の野方図書館は、楽しいイベントめじろおし！～

7月22日(土) 午前10時から

『おたのしみ袋』



場所：野方図書館 児童室特設コーナー

毎回好評の「おたのしみ袋」を今年も実施します！
乳児・幼児・小学生を対象とした本をそれぞれ3冊1セット
にしています。
どんな本が入っているのかは開けてからの楽しみ！
今まで知らなかった面白い本に出会えるかもしれません。

7月23日(日) 午後2時～3時

人形劇『さるかにがっせん』

『おかいものできるかな？』



場所：野方図書館3階会議室

劇団「貝の火」を迎え、人形劇『さるかに合戦』、
『おかいものできるかな？』をお送りします。
予約受付開始日：7月9日午前9時から
野方図書館カウンターまたはお電話にて受付。

8月19日(土) 午後2時30分～3時

『戦争と平和』夏の子ども会



場所：野方図書館3階会議室

夏休み恒例の「戦争と平和」おはなし会を、今年も開催
します。戦争の経験者が少なくなり記憶の風化が心配さ
れる今、絵本や紙芝居の読み聞かせを通して、この機会
に親子で戦争と平和について考えてみませんか？

皆様のご参加を、スタッフ一同お待ちしております！